



# (仮称) アイサワ工業株式会社 社員寮 新築工事

アイサワ工業 株式会社

エス・バイ・エル・カバヤ 株式会社

エス・バイ・エル・カバヤ 株式会社

岡山県岡山市南区福島3丁目 498 番、499 番の一部

竣工済につき  
簡略版としています

竣工済

## 提案の 概要



### A. プロジェクト全体の概要

- 岡山県岡山市に計画する3階建ての環境に配慮した社員寮。
- 岡山県産材を極力使用した CLT パネル工法。

### B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 補助予定者（建築主）からの要望でもある施工期間の短縮。また長期で使用されることを目的とした建物（社員寮）であるため、木質でありながら耐用年数の期待のできる CLT パネル工法として計画している。

### C. 提案のアピールポイント

- CLT パネル工法でありながら適材適所に在来軸組を併用し、施工性だけでなく、コストパフォーマンスも図る予定。



南側外観

## 評価の ポイント



岡山市に計画する3階建ての環境に配慮した社員寮を建築するプロジェクト。

CLT パネル工法を主体構造とし、非耐力要素の壁部分を適材適所で木造軸組工法としている。これにより、施工性だけでなくコストパフォーマンスの向上と施工期間の短縮を見込んでいる。さらに、天井のリブ付き CLT パネルと組み合わせ、将来の入寮世帯の変化に対応し、二戸一化（1DK→1LDK または 2DK）を容易に行える空間を実現しようとする計画である。

また、1時間準耐火構造で、内部の一部は、燃えしろ設計により CLT パネルをあらわし仕上げとしている。

材料面では、CLT については、極力、岡山県産材を使用する計画である。

CLT パネル工法の同種建築物のモデルとして、普及性・波及性が期待される。

木造化・木質化の  
取り組み  
内容



先端性・先進性

- CLT パネル工法を主体構造とし、雑壁（非耐力要素壁）部分を木造軸組構法としている。CLT を効率よく活用した施工性、材に対するコストパフォーマンスを実現する。

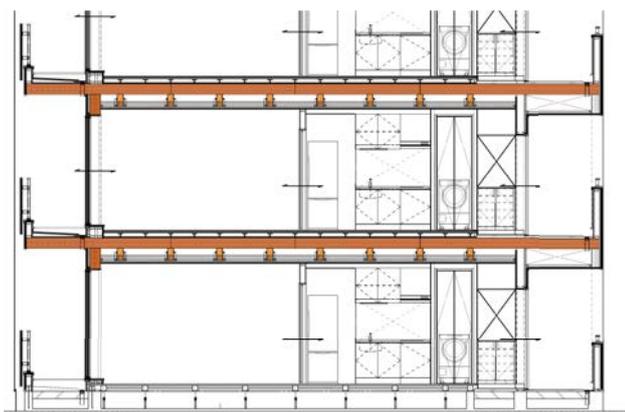
波及性・普及性

- 住宅市街地であるため、CLT パネル工法（木造）を採用し街並みの風景を壊すことなくデザインにも配慮している。上棟時、竣工時には見学会、内覧会を予定している。

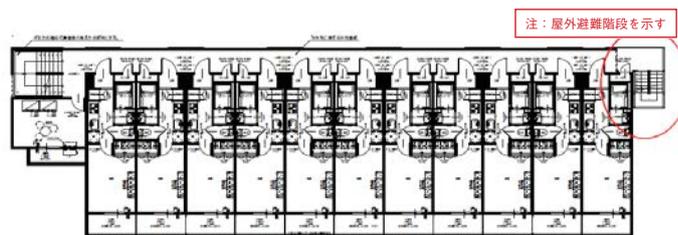
使用する木材、木質建材の特徴

- 極力、岡山県産材を使用する予定。

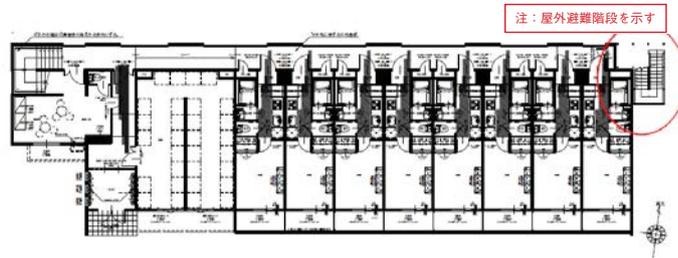
注：構造上やむを得ない部分は除く：高い剛性を要する箇所



床構成断面図

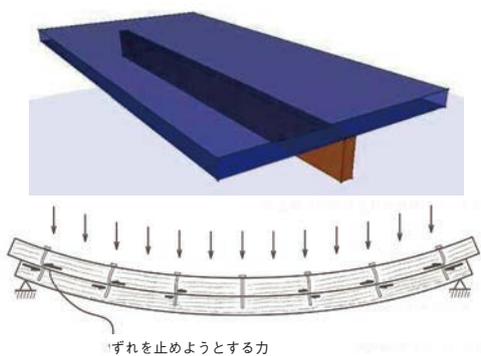


2階、3階平面図



1階平面図

平面図（単身者用から家族用への可変が可能な計画）



リップ付き CLT 床パネルで  
ずれを止めようとする力

CLT 床 パネル (Mx-5-7、t=210) の最大スパンは本建築物の場合、約 5.0m が限界となる。そこで、CLT 床パネルと集成材小梁を構造用ビスにより一体化した合成床版「リップ付き CLT 床パネル」として設計し、6.0m スパンで計画した。なお、スパン 6.0m は集成材の一般流通規格となり、経済性に配慮したスパン計画とした。



施工風景

プロジェクト  
データ



提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は  
扉頁参照

建物名称：アイサワ工業社員寮

主要用途：共同住宅

主要構造：■木造（軸組構法 枠組壁工法 丸太組構法 その他（CLT パネル工法）  
鉄骨造 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造 その他

防火地域等の区分：防火地域 準防火地域 法22条区域 その他の地域

耐火建築物等の要件：耐火建築物 準耐火建築物（60分耐火）準耐火建築物（45分耐火）その他の建築物

敷地面積：1,004.34㎡

建築面積：372.00㎡

延べ面積：1,066.50㎡

軒 高：9.61m

最高の高さ：10.26m

階 数：地上3階

事業期間（予定）：平成28年度～29年度

補助対象事業費：311,367千円

補助限度額：45,875千円





エントランスまわりの外観



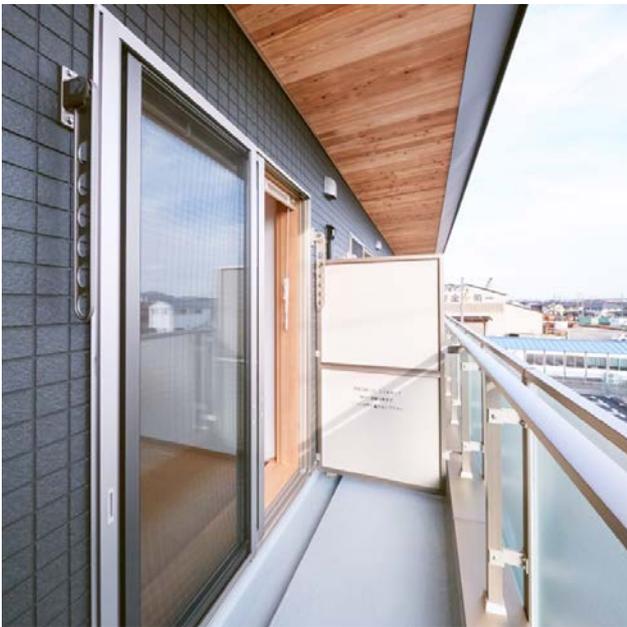
アプローチから見る外観全景



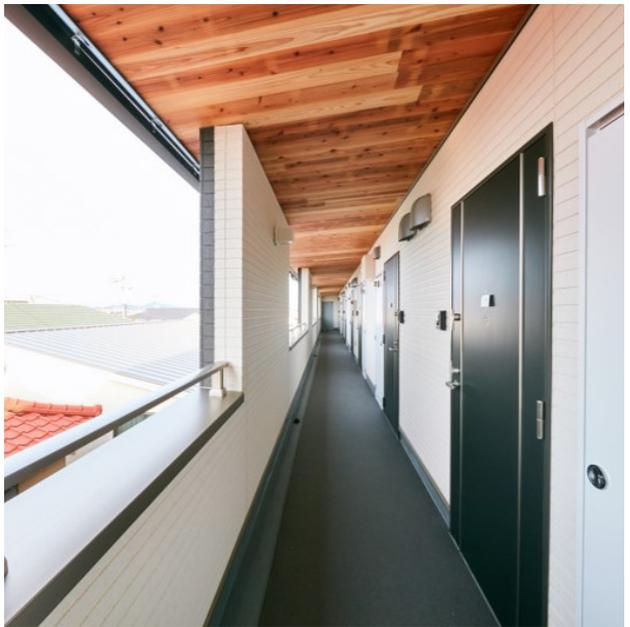
住戸



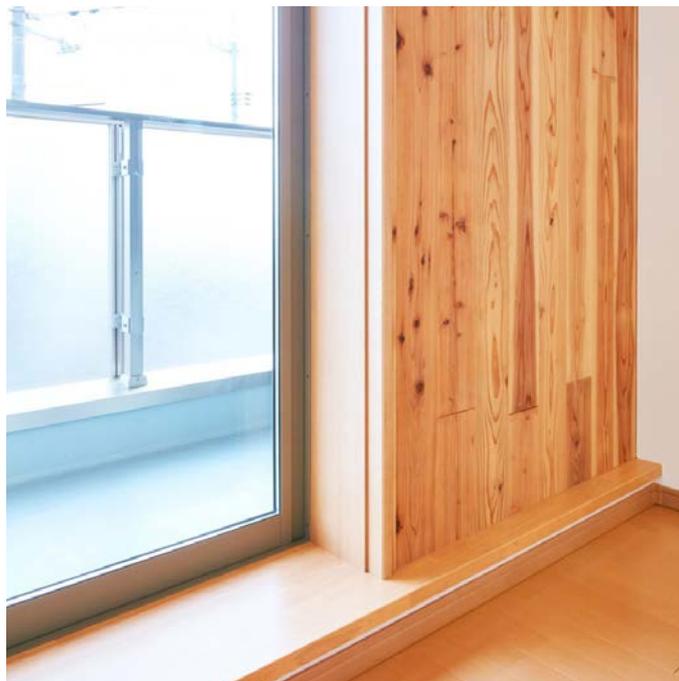
階段室 左に談話室



住戸バルコニー



共用廊下



住戸開口部